

**「教養日本力」高度化推進プログラム 台湾調査報告**

訪問先	東海大学 日本語文学系
調査日時	2007年12月21日 10:00-18:00
調査対象者	東海大学 日本語文学系 蕭幸君助理教授、林嘉恵副教授、黄淑燕副教授、李金娟講師、工藤節子講師、松尾慎助理教授、川口隆行助理教授
訪問目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「教養日本力」高度化推進プログラム主旨説明</li> <li>2. 訪問校における関連事項に関するインタビュー</li> <li>3. 訪問校から本プログラムに対する要望の確認</li> </ol>
調査方法	独自に作成した項目に従ったインタビュー、写真・録音記録
調査結果	<p><b>【コース概要】</b></p> <p>東海大学は台中に位置するカソリック系私立の総合大学。創立は1955年。日本語文学系コースは1992年に設置された。現在同コースでは文学、語学、社会科学などの多元化・専業教育を教育目標においている。専任教師は15名で、そのうち副教授が6名（うち日本人教員は1名）、助理教授が6名（日本人教員4名）、講師3名（日本人教員2名）、さらに助教2名、職員1名。また兼任講師は30数名（日本人教員3名）。</p> <p>さらに2006年から修士課程も設置されている。修士課程では「多分化交流実務専門家」を養成することを基本目標としており、つぎの3領域からなる。「言語接触領域（台日語言接触領域）」「表象文化交流領域（台日表象文化交流領域）」「社会コミュニケーション（公共性）領域（台日社会溝通（公共性）領域）」。また3領域にまたがる「社会的実践プロジェクト」が、机上の言説研究に終始することを避けるため、外部の実務家と交流し、実務能力を高めるために設けられている。</p> <p>学生数は学部400余名（各学年100名）、大学院12名である。</p> <p><b>【開講科目について】</b></p> <p>1年次から「初級総合日語」などの日本語の基礎科目に加えて、「多元文化理解」「文化領域概論」「日本概論」などの総合科目が開講され、2年次においても「中級日語」科目群のほか、「日本経済」「日本法律」「日本地理」「日本社会」「日本歴史概論」「日本文学史概説」が開講されている。専門科目はⅠ類（原則として3年次の履修、26単位）とⅡ類（原則として4年次の履修、21単位）に分かれ、討論とプレゼンテーション・新聞聴解・作文・翻訳・語法・語学総論などの上級の日本語科目と、文学・演</p>

劇・歴史・地域研究・国際関係、さらに表象文化・越境文化などの専門科目が設置されている。

同コースの特色は、①「日本語能力試験」を中心にした日本語教育よりも、「自分で考える力を身につける」ことを重視したカリキュラムに移行しようとしていること、さらに②日本語初学者の対面関係での会話習得を重視した教材開発に努力をしていることである。また、③多文化・地域性を重視した科目にも特色がある。「言語接触領域（台日語言接触領域）」「表象文化交流領域（台日表象文化交流領域）」「社会コミュニケーション（公共性）領域（台日社会溝通（公共性）領域）」などの科目では、便宜上「台日関係」としているが、実際には二国間にとどまらない国際的で多文化的な視点を導入することを目的としている。さらに台湾霧社事件の舞台となった先住民（原住民）の地域などでのフィールドワーク（月一回）を継続的に続けていることも強調された。

#### 【国際交流】

同コースの国際教育交流校は、沖縄国際大学、沖縄大学、仏教大学、関西外国語大学、国際基督教大学、桃山学院大学、立命館大学、早稲田大学、大分大学、群馬大学など。これらの大学とは交換留学および短期の語学研修（日本語教育法を専攻する日本人学生の教育実習も含む）をおこなっている。<http://www3.thu.edu.tw/ooiep/>を参照

#### 【コース運営にかかる問題・努力】

上述のように同コースでは、「自分で考える力を身につける」ことの重視・多文化交流の実現などに向けたカリキュラム改革の移行過程にあるが、これにたいする反動もある。当然ながら少なくない学生には「日本語能力試験合格・実務的な日本語能力の向上」という要望があり、教学改革への不満もないわけではないとのことである。また、国レベルにおいても実務的な語学教育の充実が教育省の方針であること、これに違背する大学独自の取り組みには予算配分などでの締め付けがあることが不安材料として語られた（その反面、教育政策に適合した大学教育を奨励するために、日本の COE によく似た「卓越教学計画」が設置され、競争的な大学の自助努力が要求されている。また実際、高雄では「国立高雄餐旅学院」のような実務やホテルビジネス科目を重視した大学が開校されている）。

#### 【卒業生の進路について】

2006 年度までの統計によれば、卒業生の進路は国内外大学院、公務員（新

	<p>聞社外国駐在員含む)、教育界、旅行会社、航空会社、日系企業、出版・広告業など。</p>
<p>備考</p>	<p><b>【受け渡し資料】</b>  (外大から)：本プログラムパンフレット、大学概要、大学案内  (東海大から)：東海大学案内(2007年度)、東海大学日本語文学系紹介、東海大学日文系選課説明パンフレット(2006年度、2007年度、各一部)、同修士課程紹介(2006年度)</p> <p><b>【インタビュー記録】</b>  miniDV(80分)×1、90分テープ×1</p>

調査担当者： 野本京子、友常勉